

ヒラメ、カレイなど「異体類」 国内外の研究者140人 集い最新の成果を紹介

ヒラメ、カレイに関する。

する最新の研究成果を
紹介する「第6回国際
異体類生態学シンポジ
ウム」が21～25日、舞
鶴市商工観光センター
(浜)で開かれる。同
シンポジウムが日本で
開かれるのは初めて
で、国内外から研究者
約140人が参加す

21～25日 舞鶴で 国際生態学シンポジウム

から、養殖方法や生態
などについて各国で研
究が行われている。
シンポジウムは京都
大学フィールド科学教
育研究センターが主催
する。研究成果を紹介す

し、テーマは「生育場
の環境と資源変動と
の関係」。陸地の護岸
工事による水質変化
が、海の比較的浅い場

市民公開講演会も23日
午後2時から開かれ
る。同センター非常勤
教授で、海の環境を守
るために植林を続けて
いる畠山重篤さんの講
演「森と海をつなぐ」心
の植林活動」などが
ある。

所にすむヒラメ、カレ
イの稚魚の生育に及ぼ
す影響など、さまざま
な研究発表が行われ
る。
問い合わせは同セン
ター舞鶴水産実験所
(0773・62・55
12)。

【安藤龍朗】